

国道3号 博多バイパス(下臼井~空港口)【直轄】

■国道3号博多バイパス(下臼井~空港口)は、福岡市北東部に位置し、交通環境(渋滞)の改善を目的とする道路。
 ■博多バイパス(下臼井~空港口)の立体化整備により、多車線道路における輻輳する交通を適切に機能分担することで、渋滞緩和及び安全性の向上を図るとともに、定時性・速達性向上による物流活動や医療活動の支援に期待。

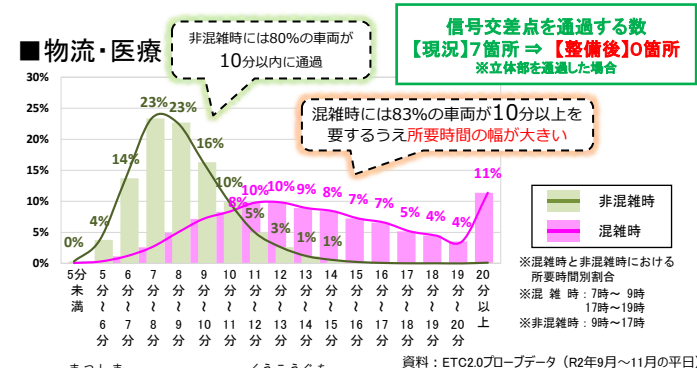
《位置図》 《諸元等》



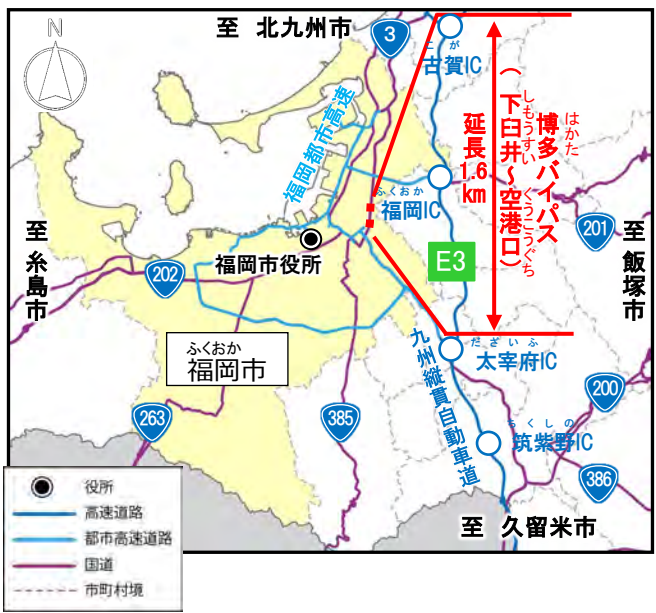
事業区間：福岡県福岡市東区二又瀬新町
 ~福岡市博多区榎田

延長：1.6 km
 全体事業費：360億円
 R4当初：0.5億円(事業費)

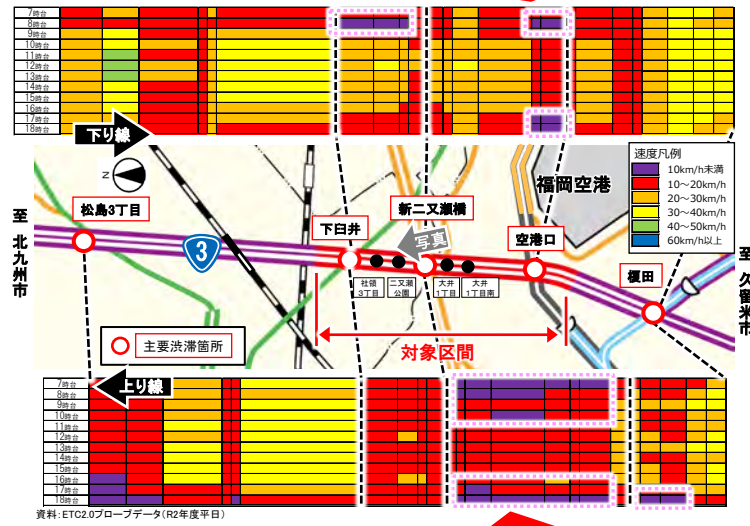
《当該区間の課題と効果》



《路線位置図》



下り線では、ピーク時で特定区間で10km/h未満の速度低下が発生



▲松島交差点から空港口交差点までの所要時間別の割合



国道201号 仲哀拡幅【直轄】

新規

道路-2

- 国道201号仲哀拡幅は、福岡県の北東部に位置し、交通環境（渋滞・事故）の改善を目的とする道路。
- 現在は使用していない既設トンネルを改修・活用して4車線化を整備することで、渋滞緩和及び安全性の向上を図るとともに、幹線道路の強化によるセメントや自動車関連などの地域産業の支援に期待。

《位置図》



《諸元等》

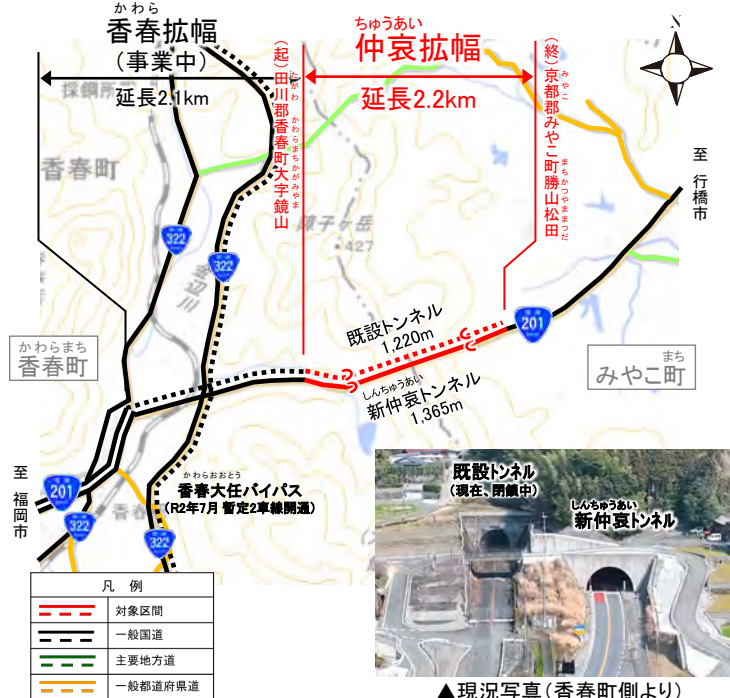
事業区間：福岡県田川郡香春町大字鏡山
～ 京都郡みやこ町勝山松田

延長：2.2 km

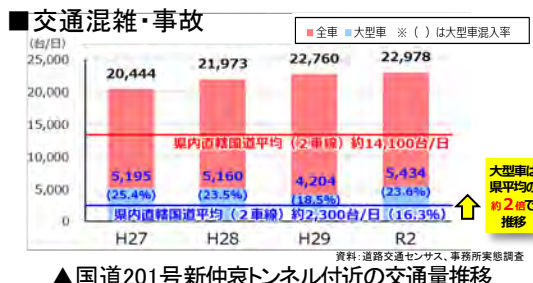
全体事業費：84億円

R4当初：0.5億円（事業費）

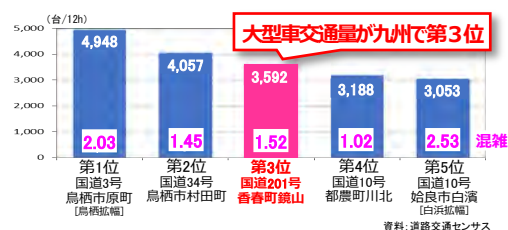
《路線位置図》



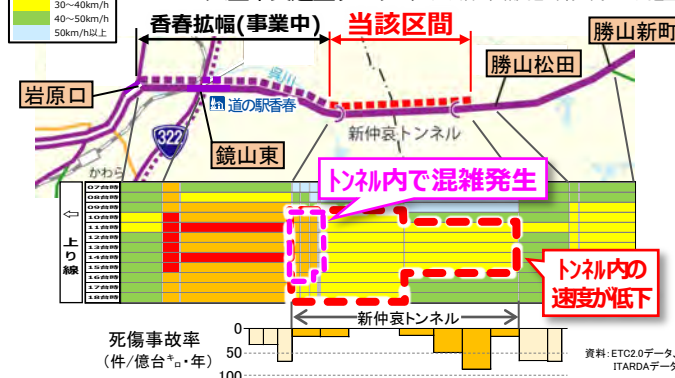
《当該区間の課題と効果》



▲ 国道201号新仲哀トンネル付近の交通量推移

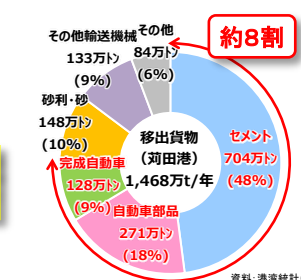


▲ 大型車交通量ランキング (九州管内直轄国道2車線区間・12h交通量)



混雑度：【現況】1.52 ⇒ 【整備後】0.67
死傷事故率：【現況】83件/億台*年 ⇒ 【整備後】31件/億台*年

▲ 物流



▲ トンネル内での事故状況 (H25.3)

▲ 河田港の移出貨物取扱量



香春町役場～行橋市役所間の迂回時間：
【現況】約47分 ⇒ 【整備後】約20分(約6割減少)

- 無電柱化は、防災、安全かつ円滑な交通の確保、良好な景観の形成等を図ることを目的として事業を推進。
- 当該箇所の無電柱化を図ることで、災害時における緊急輸送道路の確保並びに安全で快適な通行空間の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援。

○国道208号 今古賀地区電線共同溝

《位置図》

《諸元等》



今古賀地区電線共同溝

事業区間：福岡県柳川市三橋町今古賀
 ~柳川市三橋町下百町
 延長：1.2km（両側）
 全体事業費：16億円
 R4当初：0.3億円（事業費）

○整備の必要性

○道路上の電柱は、災害時の倒壊により道路を閉塞させるおそれがあるほか、歩行者等の通行や良好な都市景観の形成の妨げとなる



<電柱の倒壊による道路閉塞の事例>



<飛来物による電柱倒壊の事例>



<歩行の支障となる電柱の事例>

《路線位置図》



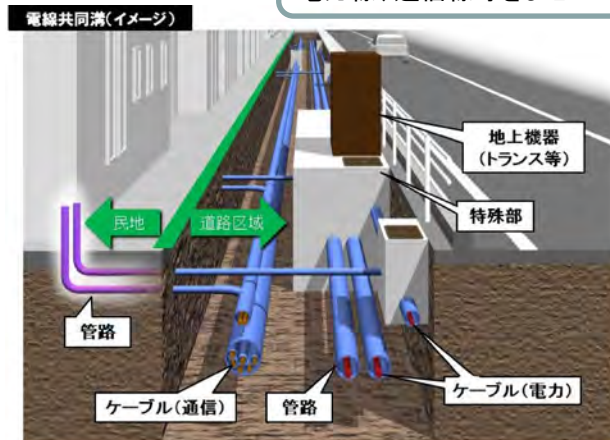
《現地状況》



※工事着手前

○電線共同溝とは

道路の地下空間を活用して、電力線、通信線等をまとめて収容



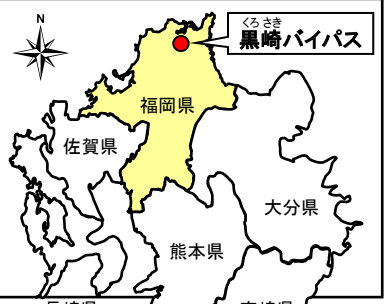
国道3号 黒崎バイパス【直轄】

部分開通

道路-4

- 国道3号黒崎バイパスは、八幡及び黒崎周辺の交通混雑の解消や交通安全の確保を図るとともに、北九州都市高速道路等と一体となって自動車専用道路ネットワークを形成し、地域産業の活性化を支援する道路。
- 黒崎バイパスのこれまでの整備により、沿線地域への企業進出が進んでおり、今後の整備により輸送時間の短縮による物流の効率化等が図られることで、更なる地域産業の活性化に期待。

《位置図》



《諸元等》

事業区間：福岡県北九州市八幡東区西本町
～北九州市八幡西区陣原

延長：5.8 km
全体事業費：875億円
R4当初：27.0億円（事業費）

《整備効果》



《路線位置》



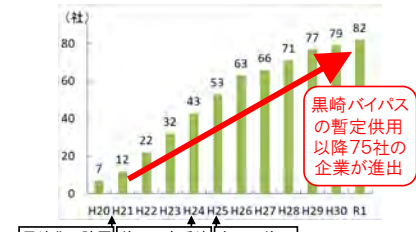
※黒崎バイパスのランプ10分圏域：H27センサス旅行速度より設定



凡例 (業種)	
● 飲食・採石業・砂利採取業	■ 情報通信業
● 建設業	■ 卸売業・小売業
● 製造業	■ 学術研究・専門・技術サービス業
● 生活関連サービス業・娯楽業	■ 生活関連サービス業・娯楽業
● その他	■ その他



資料：所要時間算出データ
H22：H22全国道路・街路交通情勢調査
H30：ETCデータ（H30年度）平日



▲ 企業進出の推移 (黒崎バイパス沿線地域)
資料：北九州市資料

国道208号 大川佐賀道路【直轄】

部分開通

道路-5

■国道208号大川佐賀道路は、重要港湾三池港、九州佐賀国際空港などの広域交通拠点及び有明海沿岸の都市群を連携する「有明海沿岸道路」の一部を構成する道路。

■大川佐賀道路の整備により、九州佐賀国際空港などから観光拠点へのアクセス性が向上するとともに、観光拠点間の結びつきも強化され、地域活性化の支援に期待。

《位置図》



《諸元等》

事業区間：福岡県大川市大野島
～佐賀県佐賀市嘉瀬町

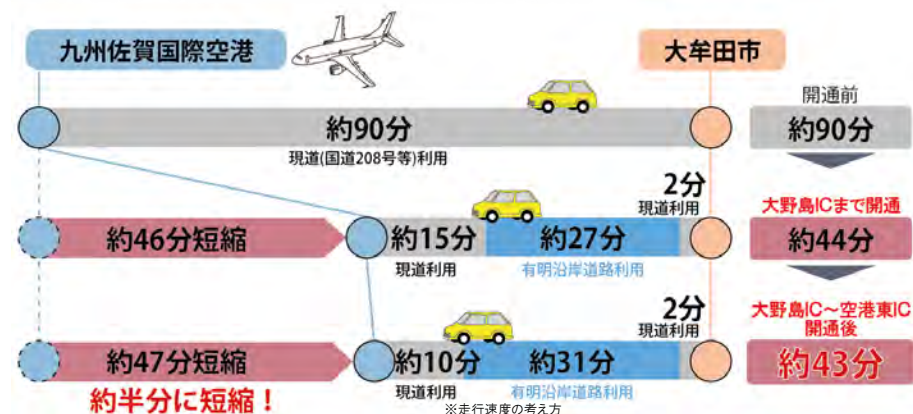
延長：9.0km
全体事業費：898億円
R4当初：38.0億円（事業費）

《路線位置図》

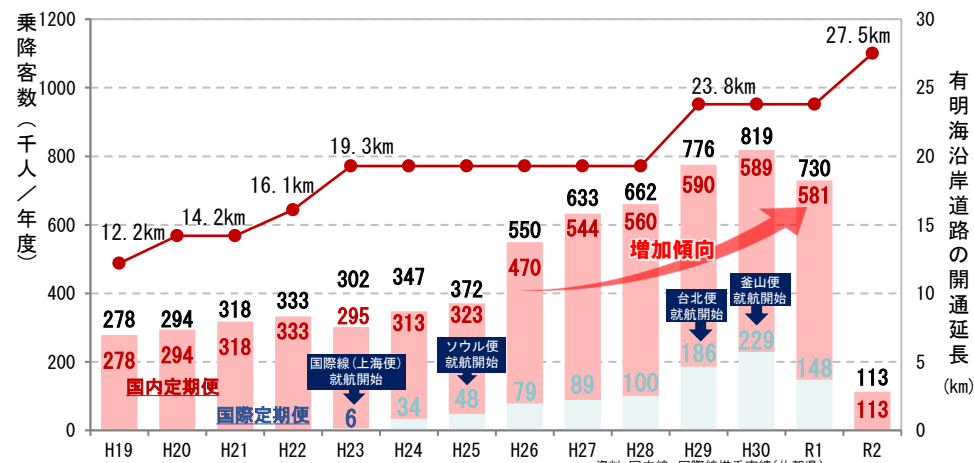


《整備効果》

■大牟田市～九州佐賀国際空港の所要時間の変化



■九州佐賀国際空港の乗降客数



資料：国内線、国際線搭乗実績(佐賀県)
※R1国際線は各便で運休・運転見合わせの期間があったため減少。
※R2はコロナ禍で減便、外出自粛などにより減少。

国道201号 八木山バイパス【直轄】

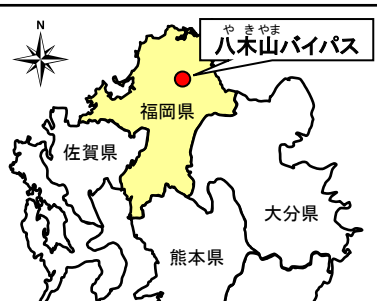
継続

道路-6

■ 国道201号八木山バイパスは、福岡都市圏と筑豊地域を結ぶ国道201号の2車線区間を4車線化することにより、交通の円滑化や、信頼性の高いネットワークを構築するとともに、対面通行区間を解消し、安全・安心の確保を目的とする4車線拡幅事業。

■ 八木山バイパスの4車線拡幅により、事故や積雪時のスタック車両等による交通規制のリスクが軽減され、物流の速達性や定時性が確保されることで地域産業の支援に期待。

《位置図》



《諸元等》

事業区間：福岡県糟屋郡篠栗町篠栗
～飯塚市弁分
延長：13.3km
全体事業費：381億円
R4当初：42.2億円（事業費）
※有料道路事業と公共事業の組み合わせによる整備方式

《整備効果》

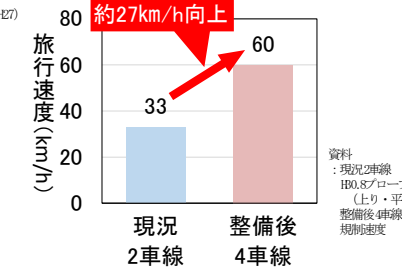
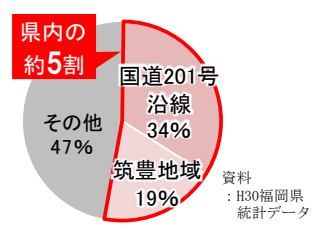
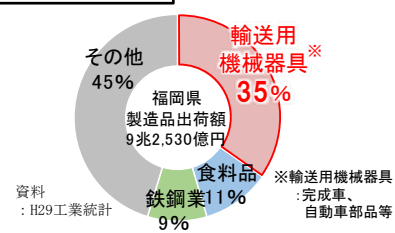
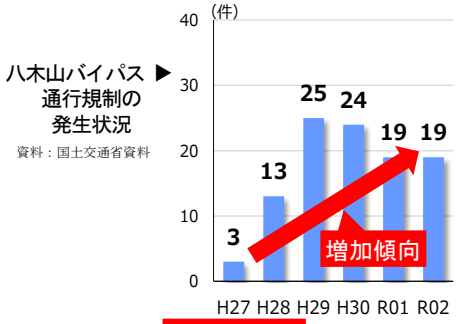
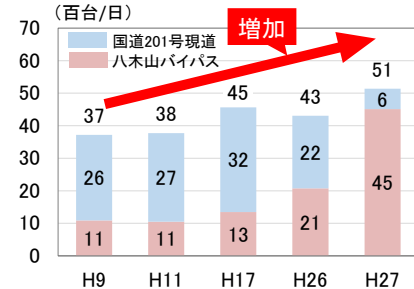
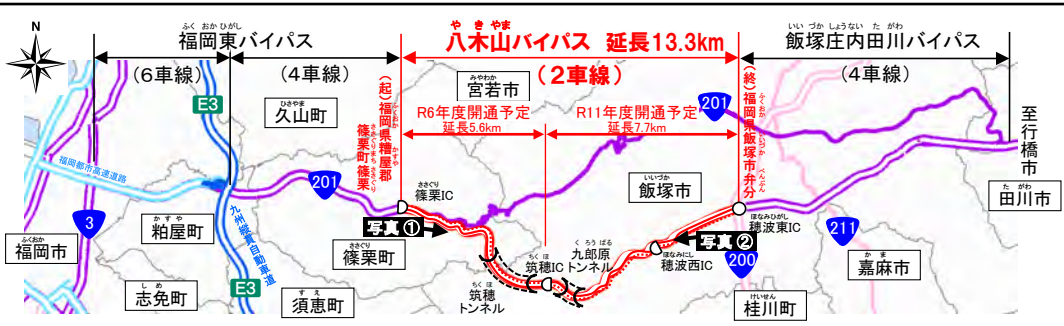
【写真①】スタック車両の発生状況



【写真②】正面衝突事故の発生状況



《路線位置図》



- 無電柱化は、防災、安全かつ円滑な交通の確保、良好な景観の形成等を図ることを目的として事業を推進。
- 当該箇所の無電柱化を図ることで、災害時における緊急輸送道路の確保並びに安全で快適な通行空間の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援。

○国道3号 千早・名島地区電線共同溝

《位置図》

《諸元等》



千早・名島地区電線共同溝

事業区間：福岡県福岡市東区千早
 ～福岡市東区箱崎
 延長：4.6km（両側）
 全体事業費：75億円
 R4当初：3.8億円（事業費）

○整備の必要性

○道路上の電柱は、災害時の倒壊により道路を閉塞させるおそれがあるほか、歩行者等の通行や良好な都市景観の形成の妨げとなる



<電柱の倒壊による道路閉塞の事例>



<飛来物による電柱倒壊の事例>



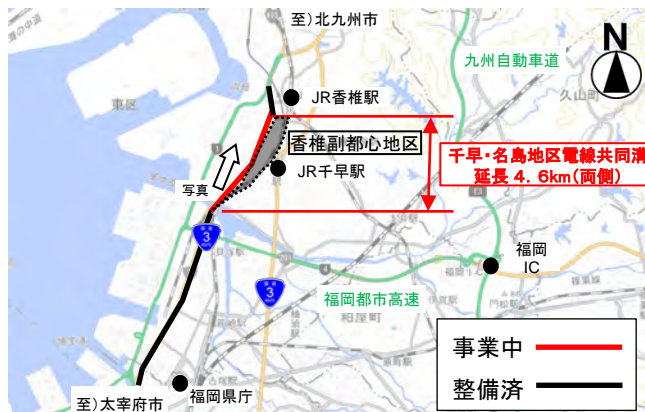
<歩行の支障となる電柱の事例>

《路線位置図》

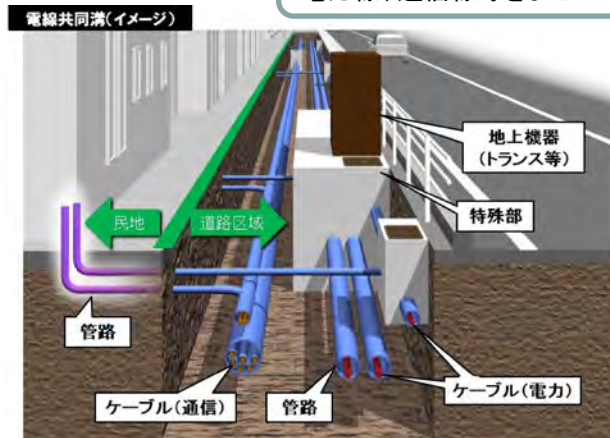
《現地状況》

○電線共同溝とは

道路の地下空間を活用して、電力線、通信線等をまとめて収容



※工事着手前



(主)鳥栖朝倉線 味坂SIC(仮称)工区【補助】

継続

道路-8

- (主)鳥栖朝倉線は、佐賀県鳥栖市を起点とし、福岡県小郡市を経て、福岡県朝倉市に至る延長23kmの広域的な幹線道路。当該区間は、国道3号と(主)久留米小郡線を結ぶ道路であり、九州縦貫自動車道の味坂SIC(仮称)へのアクセス機能を有する道路。
- (主)鳥栖朝倉線と味坂SIC(仮称)を一体的に整備することで、鳥栖商工団地等の物流拠点から九州縦貫自動車道へのアクセス性向上による物流の効率化や新たな企業誘致、雇用の創出など地域産業の活性化が期待。

《位置図》



《諸元等》

事業区間：佐賀県鳥栖市酒井西町
～福岡県小郡市福童

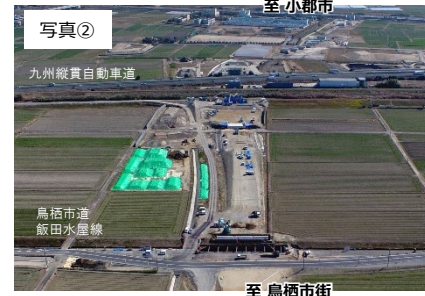
延長：1.6km

全体事業費：122億円

R4当初：25.9億円(事業費)

(うち福岡県11.9億円, 佐賀県14.0億円)

《現地状況》



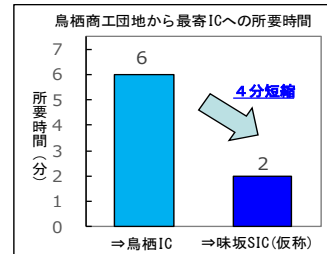
▲ 国道3号混雑状況

▲ 現地の状況

《整備効果》

- 物流の効率化により、地域産業の活性化や企業誘致を促進
- 第1次緊急輸送道路である九州縦貫自動車道へのアクセス向上により、迅速な救援・救助、復旧・供給活動を支援

《平面図》



▲ 鳥栖商工団地での仕分け状況
※平成28年4月の熊本地震時には支援物資の集積地として被災地への供給を実施

国道202号 唐津バイパス【直轄】

■国道202号唐津バイパスは、佐賀県の唐津市東部に位置し、交通環境（渋滞・事故）の改善を目的とする道路。
 ■唐津バイパスの4車線化整備により、渋滞のボトルネックが解消されることで、安全性の向上や通勤及び物流・救急搬送活動の円滑な移動を図るとともに、(県道)虹の松原線の交通規制時における代替路の確保及び幹線道路の機能向上による沿線地域の日常生活の支援に期待。

《位置図》



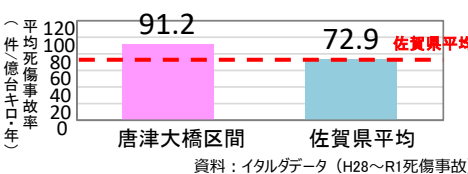
《諸元等》

事業区間：佐賀県唐津市鏡
 ～唐津市和多田大土井
 延長：1.3km
 全体事業費：60億円
 R4当初：0.5億円（事業費）

《当該区間の課題と効果》

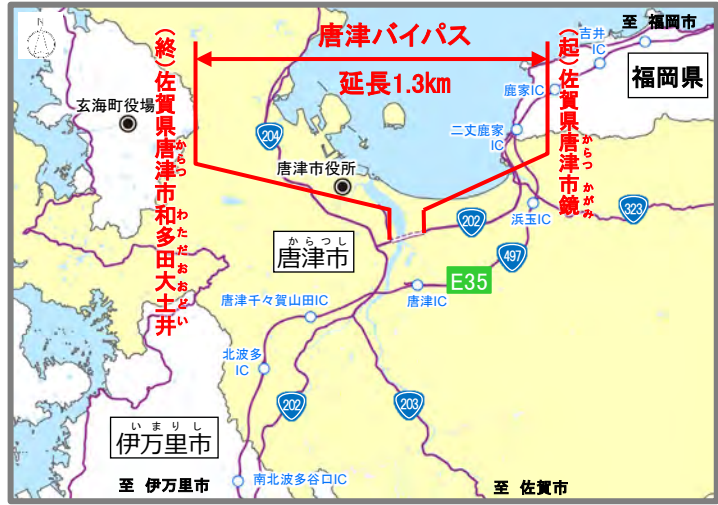


死傷事故率
 【現況】91件/億台*年 ⇒ 【整備後】71件/億台*年



▲唐津大橋区間の死傷事故率

《路線位置図》



▲(県道)虹の松原線の交通規制時の交通状況



【写真①】渋滞のボトルネックとなる橋梁部



【写真②】周辺の生活道路に流入する通過交通

国道57号 富津防災【直轄】

新規

道路-10

- 国道57号富津防災は、防災上危険な箇所を回避し、災害に強い道路ネットワークの確保を目的とする道路。
- 富津防災の整備により、土砂災害等による通行規制を回避することで、産業・物流活動や通勤・通学等における地域の安全・安心を確保する信頼性の高い道路ネットワークを構築。

《位置図》



《諸元等》

事業区間：長崎県雲仙市小浜町
～雲仙市千々石町

延長：3.4 km

全体事業費：220億円

R4当初：0.5億円（事業費）

《当該区間の課題と効果》



写真① 急峻な地形・道路線形



写真③ 国道57号の上空斜面に存在する浮石・転石

《路線位置図》



写真② 道路の被災状況 (R3.8)



■ 国道57号災害時の迂回時間
(雲仙西登山口交差点～愛野交差点間※)

通常時 国道57号利用	約24分	迂回時間は 約2倍
災害時 迂回ルート	約60分	

※通勤・通学、買い物等の日常生活や救急医療、観光交通、農水産物の輸送ルートとして利用

▲ 国道57号災害時の迂回ルート・時間

国道206号 大串白似田バイパス【補助】

新規

道路-11

■国道206号大串白似田バイパスは、長崎県長崎市と長崎県佐世保市を結ぶ西彼杵道路の一部を構成し、地域間の連携強化や、災害に強いネットワークの構築を目的とする道路。

■大串白似田バイパスの整備により、災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するとともに、長崎港や佐世保港などから観光拠点へのアクセス向上により、魅力ある観光振興の支援に期待。

《位置図》



《諸元等》

事業区間：長崎県西海市西彼町平山郷
～西海市西彼町白似田郷

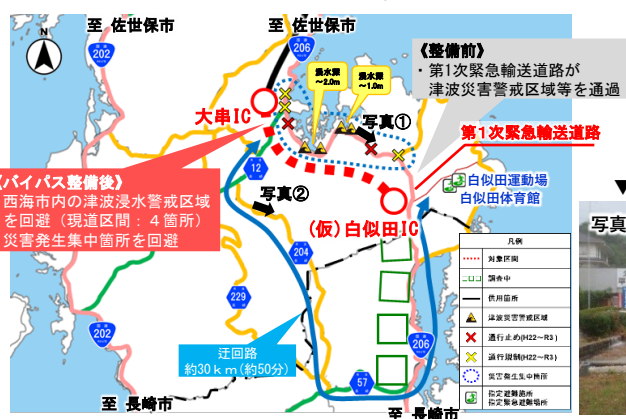
延長：6.6 km

全体事業費：250億円

R4当初：0.5億円（事業費）

《整備効果1》

■災害時の避難路、緊急輸送道路を確保



国道206号(大串IC～西海交差点) 災害による通行規制箇所数(H22～R3)



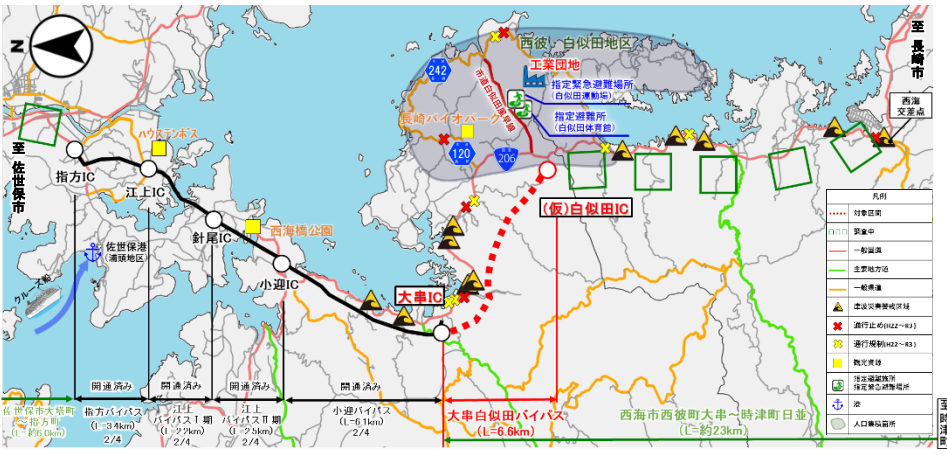
▼国道206号冠水状況(H27.8)



▼県道204号離合困難箇所

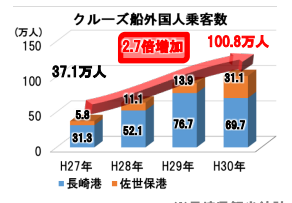
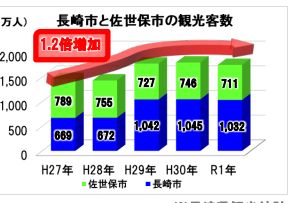


《路線位置図》



《整備効果2》

■周遊観光の安定、国内外のクルーズ船の誘致
インバウンド観光の推進による観光の更なる活性化に期待



(主)佐々鹿町江迎線(鹿町工区)【補助】

新規 道路-12

- (主) 佐々鹿町江迎線(鹿町工区)は、現在整備中の「西九州自動車道」江迎鹿町ICへのアクセス道路として、交通の円滑化等に資する道路。
- 西九州自動車道との一体的な整備により、災害時における避難・支援物資の代替路を確保するとともに、救急医療施設へのアクセス性向上による地域医療活動等の支援に期待。

《位置図》



《諸元等》

事業区間：長崎県佐世保市鹿町町鹿町
～佐世保市江迎町乱橋

事業主体：長崎県

延長：2.1km

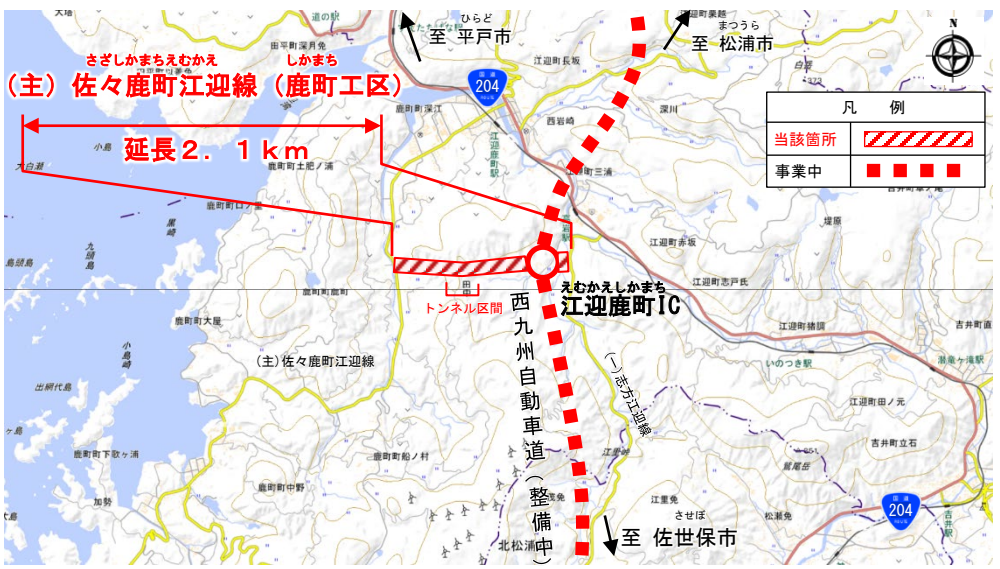
全体事業費：45億円

R4当初：2.3億円(事業費)

《整備効果》

○現道上の津波想定浸水区域及び過去の冠水箇所を回避し、大規模災害時の緊急物資輸送のための強靱な道路ネットワークを確保。

《平面図》



○佐世保市総合医療センター(第3次救急医療施設)へのアクセス向上による地域医療活動を支援。



国道497号 松浦佐々道路【直轄】

継続

道路-13

- 国道497号松浦佐々道路は、西九州自動車道の一部を構成し、九州北西部地域の地域経済の活性化、高速定時性の確保等に寄与するとともに、県北地域の唯一の幹線道路である国道204号の代替機能確保を目的とする道路。
- 松浦佐々道路の整備により、周辺市町へのアクセスが向上することで、県北地域の観光振興の促進や新たな企業立地、雇用の創出などの地域産業の活性化の支援に期待。

《位置図》



《諸元等》

事業区間：長崎県松浦市志佐町
 ～ 北松浦郡佐々町沖田免
 延長：19.1km
 全体事業費：907億円
 R4当初：98.8億円（事業費）

《整備効果》



▲平戸の聖地と集落（中江ノ島）（写真①）

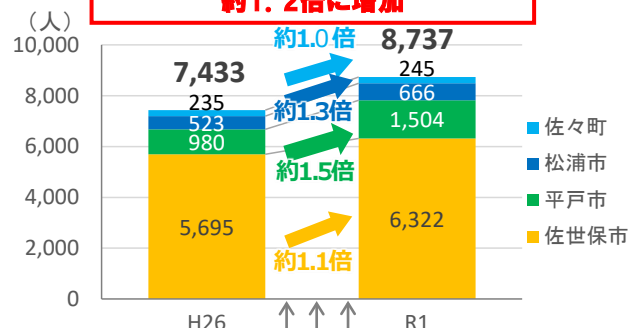


▲平戸の聖地と集落（春日集落と安満岳）（写真②）



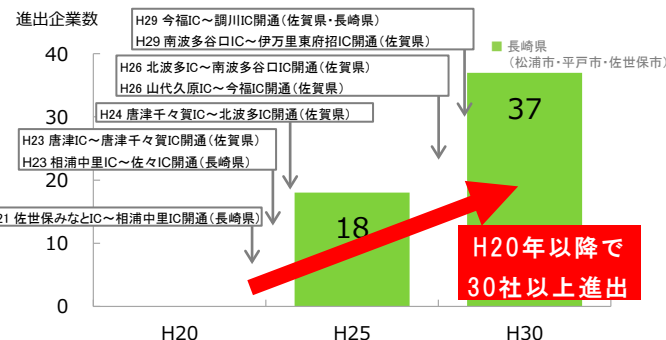
▲平戸城（写真③）

西九州自動車道沿線で福岡からの来訪者が約1.2倍に増加



▲8月休日の福岡県からの来訪者推移（佐世保市・平戸市・松浦市・佐々町）

※資料：RESAS（地域経済分析システム）の滞在人口データ（携帯電話の運用データに基づくデータ）



※資料：各市町村提供資料及び各市町村ホームページ

《路線位置図》



- 幹線道路における安全・安心な道路交通環境の創出を目的に事業を推進。
- 当該箇所交通安全対策により、歩行者が安全・安心に通行できる歩行空間の確保、死傷事故件数の減少が期待。

○国道57号 大下歩道整備

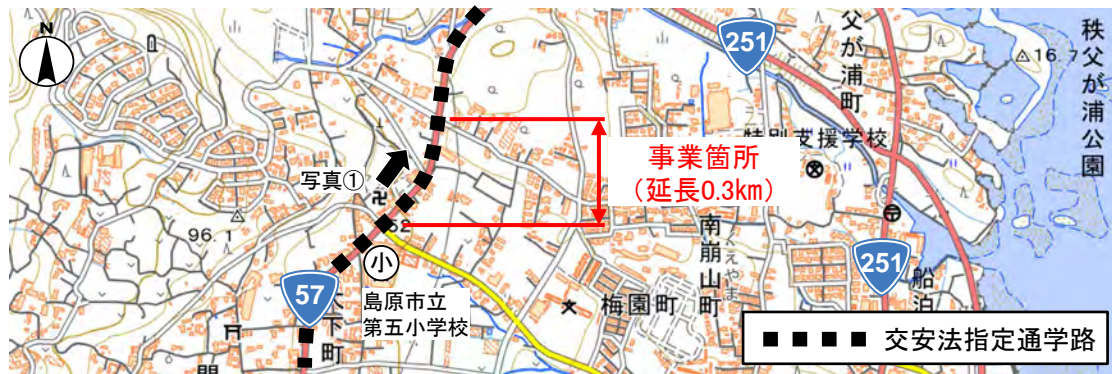
《位置図》



《諸元等》

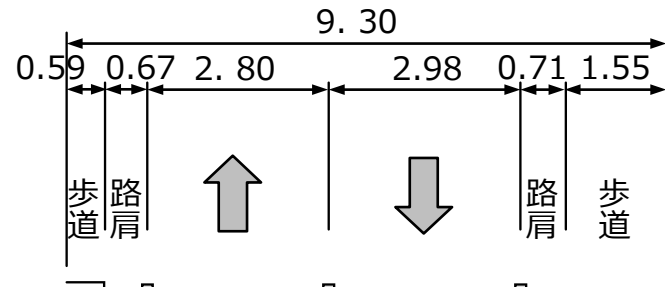
事業区間：長崎県島原市大下町
 延長：0.3 km
 R4当初：1.1億円（事業費）

《平面図》



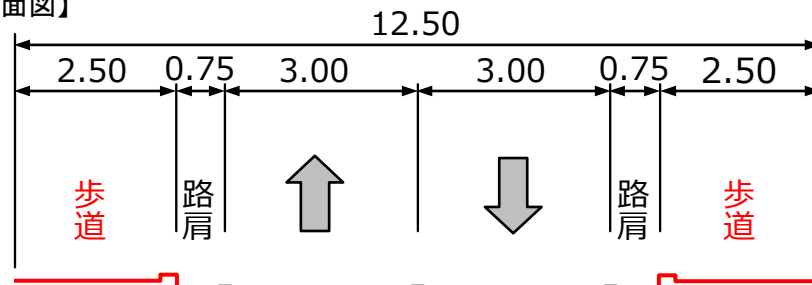
※平成24年7月24日に教育委員会、自治体、道路管理者で合同点検実施。
 直轄においては、歩道整備、地元においては、通学・帰宅時に見守り対策を実施。

【現況断面図】



(単位:m)

【計画断面図】



(単位:m)

《現地状況》



写真①

至 雲仙市

国道218号 矢部清和道路【直轄】

新規

道路-15

- 国道218号矢部清和道路は、熊本県熊本市と宮崎県延岡市を結ぶ九州横断自動車道延岡線の機能を担い、災害時における救援活動や救急医療活動及び地域産業活動を支援する広域ネットワークの構築を目的とする道路。
- 矢部清和道路の整備により、災害時の代替路を確保するとともに、速達性向上による救急搬送や八代港までの安定した物流ルート確保により物流効率化が図られ、地域産業活動の支援に期待。

《位置図》



《諸元等》

事業区間：熊本県上益城郡山都町城平
～上益城郡山都町大平

延長：10.3km

全体事業費：740億円

R4当初：1.0億円（事業費）

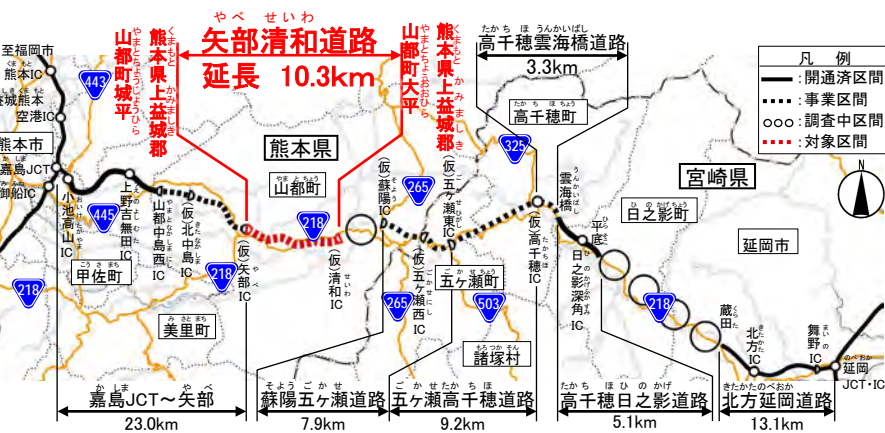
《当該区間の課題と効果》

■ 防災



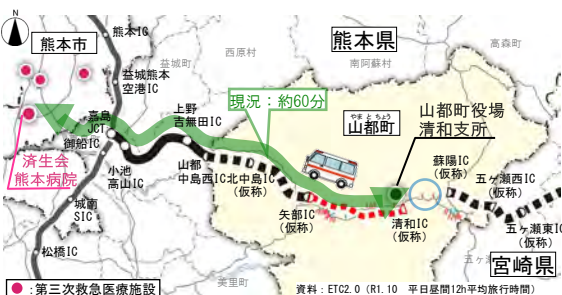
国道218号における土砂災害危険区域の箇所
【現況】8箇所 ⇒ 【整備後】0箇所
国道218号における浸水想定区域の箇所
【現況】約75分 ⇒ 【整備後】0箇所

《路線位置図》



■ 医療

山都町役場清和支所～済生会熊本病院の所要時間
【現況】約60分 ⇒ 【整備後】約47分（約13分短縮）



■ 物流

輸送経路である国道218号の線形が厳しい箇所
【現況】25箇所 ⇒ 【整備後】0箇所
阿蘇森林組合 清和加工所～八代港の輸送時間
【現況】約75分 ⇒ 【整備後】約64分（約11分短縮）



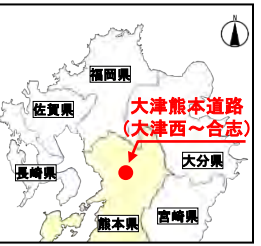
資料：ETC2.0 (R1.10 平日昼間12h平均旅行時間) ※九州横断自動車道延岡線の事業区間は、80km/hで算出
資料：ETC2.0 (R1.10 平日昼間12h平均旅行時間) ※九州横断自動車道延岡線の事業区間は、80km/hで算出

国道57号 大津熊本道路(大津西～合志)【直轄】

■国道57号大津熊本道路(大津西～合志)は、大分県大分市と熊本県熊本市を結ぶ中九州横断道路の一部を構成し、物流効率化や救急医療活動及び観光振興を支援する広域ネットワークの構築を目的とする道路。

■大津熊本道路(大津西～合志)の整備により、経済安全保障政策の強化に繋がる半導体関連企業等の物流を担うとともに、最寄りICまでの所要時間が短縮することで、物流効率化による産業活動の支援や速達性向上による救急搬送・周遊観光の支援に期待。

《位置図》 《諸元等》



事業区間：熊本県菊池郡大津町杉水～合志市上庄

延長：4.7km

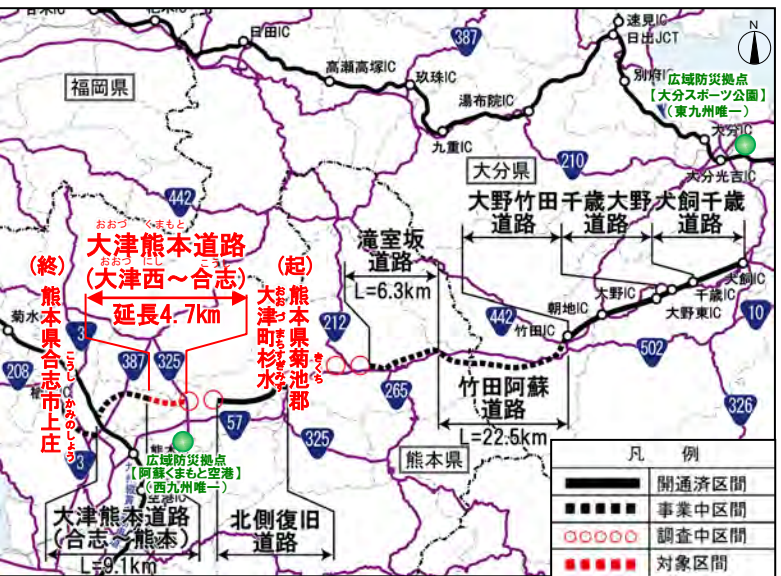
全体事業費：310億円

R4当初：0.5億円(事業費)

《当該区間の課題と効果》

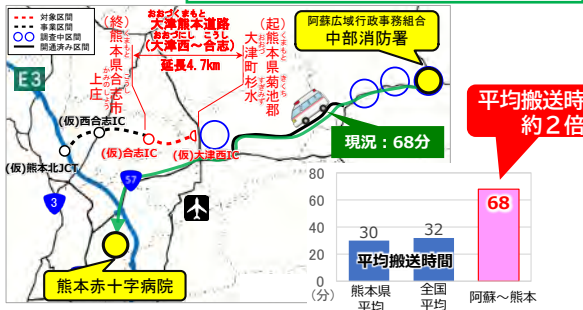


《路線位置図》



▲菊池・大津地域の企業立地

消防署～第三次救急医療機関の所要時間【現況】68分 ⇒ 【整備後】60分(8分短縮)



▲阿蘇地域から熊本赤十字病院への所要時間

▲沿線地域周辺の主要観光地と熊本駅からの時間圏

熊本駅～阿蘇地域の所要時間【現況】93分 ⇒ 【整備後】69分(24分短縮)



▲沿線地域周辺の主要観光地と熊本駅からの時間圏